

山形県における運動部活動の在り方に関する方針 第1回策定委員会議事録(主な意見)

◆「方針案全体」について

- ・ 県の方針を保護者や生徒に理解を深めてもらう工夫が必要
- ・ 顧問が校長に行う活動実績の報告を「毎月」ではなく「定期的に」にしたのは顧問の負担軽減につながりありがたい
- ・ 文化部についてはどうなのか
→ 文化庁ガイドラインを受け、県が文化部の方針を出すまで本方針を準用する
- ・ 顧問は強制ではないことを保護者や生徒に理解してもらう必要がある
- ・ 「原則」「程度」の言葉を使う際の考え方(2h程度とは±30分等)をもっておく必要がある
- ・ 建学の精神に部活動の活性化がある学校もあるので柔軟にできる内容にしてほしい

◆「方針策定の趣旨等」について

- ・ 部活動の良さや価値にももっと触れて欲しい

◆「1 適切な運動のための体制整備」について

- ・ 選手第一の視点から、学校と保護者が部活動に関し共通理解をしておく必要があること等について示してほしい
- ・ 生徒引率について、学校の設置者が同じ場合は他校教員が引率できるなど盛り込んで欲しい
- ・ 部活動指導員・外部指導者の人材確保の手立てが必要
- ・ 外部指導者の必要性は感じるがどう育成していくのか
- ・ 専門的な指導をするため、指導者への教育も必要である

◆「2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組み」について

- ・ 保護者としては、合理的な指導というならなおさら専門家に指導してほしい

◆「3 適切な休養日・活動時間等の設定」について

- ・ 高校も土日の休養日をとるよう設定してほしい
- ・ 朝練に間に合う電車がなかったりから高校でも朝練禁止としてほしい
- ・ 大会を減らしても、練習試合が増えるだけではないかという懸念がある
- ・ 中学校「特別強化期間」、高校「強化指定部」の設定の判断は適切と思う

◆「4 運動部活動における事故防止について」について

- ・ 保護者送迎について負担軽減を考えて欲しい
- ・ 部活動に係る生徒の移動手段について、校長会の申し合わせ事項の引用(公共交通機関の利用、自転車利用時の交通ルール遵守、保護者の自家用車に他生徒を同乗させない)ではなく、県の方針として示して欲しい

◆「5 生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備」について

- ・ 単純に運動を楽しみたいという生徒に応える多様性のある部活動の創設を各学校で検討していく必要がある
- ・ 「生徒のニーズを…」に対応するために新しい部をつくることは先生の負担増となり、働き方改革に逆行する
- ・ 学校と地域の連携について、具体例を挙げて示して欲しい

◆「6 学校単位で参加する大会等の見直し」について

- ・ 大会の精査として、競技団体が主催している大会に参加しないということは地域とのつながりの関係上難しい
- ・ 学校が大会の精査をして参加しない学校が多い大会があると、主催者側が困るのではないかと